

# 麦



埼玉親の会「麦」発行

2024年2月23日 159号

E-mail: mugi.saitama89@gmail.com

ホームページ: <http://ldmugi.sakura.ne.jp/>

能登半島地震とその関連の事故によって犠牲になられたすべての方々にお悔やみを申し上げますとともに、被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。  
被災地の皆様の安全と、一日も早い復興を心よりお祈りいたします。 「麦」会員一同



## 令和5年度を終えて～代表よりメッセージ～



梅の花がほころびだす時期となりました。私が「麦」代表に就任してから、もう1年が過ぎようとしています。この間、多くの方と出会い、多くの方の善意に触れることができました。会員皆様にも、数々のお手伝いをさせていただき、心から感謝しております。多くの人的ご協力があったからこそ、この1年を乗り切る事が出来たのではないかと感じております。本当にありがとうございました。

令和5年5月から、新型コロナが5類感染症に位置づけられ、法律に基づく新型コロナの外出自粛は不要になりました。このことによって、以前と同じ対面活動が行えるはずなのですが、新型コロナによる長期にわたる外出制限は、外に出向いて活動する習慣を変化させ、オンラインを取り入れることが求められるようになりました。ただ会員にも様々なニーズがございます。在宅の家族に気を遣うことなく会場へ出向いて話をしたい方、交通移動が不要なオンラインを好む方、オンライン操作が苦手な方、それぞれです。連絡手段でも、メールよりLINEの方が使いやすい方、LINEが苦手な方、まちまちです。今年度の役員会では、会員皆様が、少しでも参加しやすく便利のように、様々な方策を見直しました。会員皆様にご意見を伺いながら、できることから取り組んでいく所存です。至らない点多々あるかと存じますが、より良い活動を目指していきます。「麦」では、皆様からのご意見やご提案をお待ちしています。些細な事でも構いませんので、何かお気づきになった事がございましたら、遠慮なく「麦」役員または「麦」メールまでお知らせください。

会員の皆様、来年度も引き続き「麦」の活動をよろしく願いいたします。

来年度が皆様にとって素晴らしい年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。 (H・Y)

### 発送活動

### 10月発送作業

10/26(木)さいたま市市民活動サポートセンターミーティングスペース 13:00～印刷製本封入  
例年、10月は発送数も印刷製本も少ない為、あまり会員にお手伝いを依頼することなく、例会終了後に役員だけで作業を行っていましたが、今回は4～5月に行った進路ひきこもり等のアンケート結果を会員に郵送する作業がありました。更に10月例会はZoomおしゃべり会だったので、発送のためにわざわざ会場に出向く必要がございました。当日は、役員と会員の計5名で発送作業を行いました。お忙しい中、発送のお手伝い、ありがとうございました。発送は、2月と4月が送付先も印刷製本も大量です。会員の皆様、2月と4月の発送作業には、いっそうのご協力をお願いいたします。 (H・Y)

## 「全体交流おしゃべり会」



10/21 (土) 20:00~21:30 オンラインおしゃべり会 Zoom

参加者：教育 G1 名、就労 G3 名 計 4 名

平日仕事の為、なかなかおしゃべり会に参加出来なかったもので、オンラインの開催は有難いものでした。なかなか相談しにくい話もここで相談出来るので気持ちが楽になります。それは、同じような体験をしてきた方のアドバイスがあるからだと思います。1 時間の参加が難しい場合でも少しだけでも参加可能だと思うので、手軽に参加できるおしゃべり会だと思います。時間帯や曜日によって今まで参加出来なかった方もたまに参加出来るようになるので、たまにはオンライン開催もあると良いなと思いました。(N・M)

11/20 (月) 10:30~12:00 会場：浦和コミュニティセンター IT 研修室

参加者：会員 5 名 (全て就労 G)、見学 6 名、合計 11 名

今回は 18 歳以下のグループと 18 歳以上のグループに分けて行ないました。私は 18 歳以上のグループに参加いたしました。就労してから職場でうまくいかずに悩む方が増えていると感じました。職場でのコミュニケーションがうまくいかない、仕事がうまくいかないなど、いろいろな悩みを話し合いました。職場の方たちにも発達障害の特性を理解してもらいたいですね。おしゃべり会は日頃の悩みを発散出来る場だと感じるので、皆様是非おしゃべり会に参加して日頃たまったストレス?の発散をいたしまししょう。(A・Y)

1/22 (月) 10:30~12:00 会場：浦和コミュニティセンター第 9 集会室

参加者：会員 5 名 (教育 G1 名、就労 G4 名) 見学 6 名、合計 11 名

今日はありがとうございました。

参加者同士で情報交換出来た事や、発達の気になる子どもの年齢層も様々で、色々な話が聞けたことも良かったです。又、役員さん達や先輩ママの今までの試行錯誤など、とても参考になりました。

普段なかなか話せない子どもの話をまるっと話せる場は本当に貴重だと思います。今後ともよろしくお願い致します。(T・K)

## 12 月全体例会講演会

## 埼玉親の会「麦」主催 講演会



## 「発達障害のある子の子育てと周囲との連携」



講師：矢崎 弘美 (埼玉親の会「麦」代表、子ども発達障がい支援アドバイザー)

12 月 17 日 (日) 10:30~12:00

会場 浦和コミュニティセンター IT 研修室+オンライン

講師の矢崎さんは埼玉県の教職員向け保護者の心情理解や障害受容」などをテーマにした研修会の講師をたびたびおこなっています。その時の機関紙報告記事を読んで、私もその話を聴いてみたいものだと思います。

役員会で講演会の講師をどなたにお願いしようかという話が出た時にそのことを思い出して、矢崎さんにぜひ教職員向けでなく保護者向けの内容で講師をお願いしたいと思いました。矢崎さん、引き受けてくださってありがとうございます。

私は遠方なので zoom での参加でしたが、保護者の心情については「うんうん」とうなずくことがいっぱいありました。とくに私は、我が子の障害の受容がなかなかできなかったので、「障害受容までの道のり」については私の気持ちを代弁してくれているのではと思いました。私は支援機関にいっぱい頼りましたが、そのことも、自分一人で抱えこまないで、まわりに助けを求めたことはよかった事だったと改めて思いました。

支援機関の方の参加もあったのもうれしいことでした。我が家の子どもが幼い時と比べて今はたくさんの情報と支援があります。障害が親もまわりにも理解されて、親も子ども笑顔で暮らせる社会になることを願います。

講師の矢崎さん、お忙しい中、資料を作成して、たくさんのお話をありがとうございました。(C・N)

## 就労移行支援事業所見学 会員限定企画



## ブライツさいたま

11月20日(月) 13:30~14:30 出席 教育G1名、就労G4名 合計5名  
 麦の法人会員である、さいたま新都心の「ブライツさいたま」を訪問しました。ブライツさいたまは発達障害に特化した就労移行支援事業所です。利用者は主に20代で、特別支援学校を卒業したばかりの人や、ひきこもり歴のある人など、いろいろな人が通所しているそうです。カリキュラムにはパソコン講座やSST講座、作業訓練等があります。事務職への就職希望者が多いとのことでPC講座は特に充実しており、事務職には必須のWordやExcel等を初歩から学ぶことができます。見学時には、ひとり1台のパソコンを使ってillustratorの講義が行われており、皆さん集中して受講されていました。

施設内は静かで、音などの刺激に敏感な人でも落ち着いて過ごすことができそうでした。発達障害に特化しているため、通所者それぞれの特性を把握して、個々に合わせた支援や環境づくりをしているとのこと。「発達障害があるからといって子ども扱いすることなく、大人として接するよう心掛けている」とおっしゃっていたのが印象的でした。ブライツさいたまの皆様、ありがとうございました。(M・N)

## アクセスジョブさいたま

1月22日(月) 13:30~14:30 出席 教育G2名、就労G4名 合計6名  
 東大宮の就労移行支援事業所「アクセスジョブさいたま」を見学しました。こちらは発達障害者だけでなく、うつ病などの精神疾患を持つ人や、知的障害のある人などを幅広く受け入れています。プログラムにはWordやPowerPointなどのパソコン講座以外に、軽作業や、資格取得等があります。動画で勉強する「eラーニング」のメニューも豊富に用意されていて、プログラミングやCADなどを基礎からマイペースに学ぶことができます。また医療事務や簿記といった民間資格の勉強もeラーニングででき、中でもMOSが一番人気で多くの方が取得しているとのことでした。

またパソコンが苦手な人も多いと思いますが、封入や仕分け、ピッキングといった軽作業のメニューも充実しています。パソコンを使った仕事は難しい人も、自分に合った訓練を受けることができるのは心強く感じます。グループワークやレクリエーションを通して、会話の練習も行っているそうです。明るく楽しく穏やかに過ごせる場所づくりをし、訓練も楽しく受けられるように心がけているとのことでした。アクセスジョブさいたまの皆様、ありがとうございました。(M・N)



## 法人会員のご紹介

11月施設見学では(株)アストコ 就労移行支援事業所「ブライツさいたま」に伺いました。「ブライツさいたま」は当会の法人会員です。そこで、本機関紙で当会の法人会員を簡単に紹介させていただきます。(H・Y)

(株)アストコ 就労移行支援事業所「ブライツさいたま」とは?  
 「ブライツさいたま」は、平成29年12月に開設された、さいたま市内にある発達障害に特化した就労移行支援事業所で、障がい特性や個別性に合わせた支援を提供しています。そして、自身の得意な部分、苦手な部分を理解して就労につなげていく支援を目指しています。その一環として、「ビジネスマナー講座」をはじめとした就職に向けた講座だけでなく、「イラストレーター講座」や「作業訓練講座」など幅広い講座を開催するなかで《できること》を見つけ《やりたく》て《できること》を知り、仕事を続けていく上で必要なスキルを習得できるように個別の計画に基づいて支援を行います。詳細は下記ホームページでご確認ください。

<https://astoco.jp/about-bright/bright-saitama/>



## 令和5年度第1回発達障害者支援地域協議会

10/19（木）オンライン（Zoom）

埼玉県発達障害者支援地域協議会は、発達障害者及びその家族、学識経験者並びに医療、保健、福祉、教育、労働等の関係機関の職員が、県内の発達障害児・者への支援体制に関する課題について情報を共有し、実情に応じた支援体制の整備を図る為に、平成29年に設置されました。「麦」は、JDDnet 埼玉（日本発達障害ネットワークの埼玉県組織）に所属しているので、家族会として協議会の委員を務めています。本協議会は年2回実施され、10/19（木）今年度第1回の協議会が開催されました。あいにく委嘱を受けた「麦」役員が出席できなかったため、当日は「麦」代表が代理出席いたしました。内容は下記の通りです。

### （1）報告 県の発達障害児・者支援に関する事業報告

埼玉県発達障害総合支援センターの概要と取り組み、専門機関に委託した事業について報告がございました。

### （2）議題 発達障害支援における「教育」と「福祉」の連携について

幼保から小学校につなぐ特別支援教育研修、地域療育センターにおける地域支援、入間市学校教育課から入間市の教育と福祉の連携システムについて、報告がございました。

その後、出席委員が一人ずつ意見を述べ、私は「保護者との連携」「きょうだいや配偶者への支援」「不登校ひきこもり対策」の充実を求めました。本協議会により、支援が広がることを期待しています。（H・Y）

## 埼玉県若者支援協議会主催

## 令和5年度 若者支援のためのネットワークづくり研修会

講演 「不登校やひきこもる若者の自立支援と支援機関の連携」～家族支援やアウトリーチの手法を通して～

講師 深谷 篤史氏（NPO 法人メンタルコミュニケーションリサーチ理事・東京支部長）

11/13（月）会場：浦和コミュニティセンター

若者が抱えている困難は複雑化・深刻化しており、1つの支援機関や団体では解決が難しくなってきました。そこで、埼玉県は様々な支援機関や団体のネットワークを強化するため、平成30年に埼玉県若者支援協議会を設置しました。「麦」では、発達障害の若者支援を中心に研修会へ参加しています。

講演の主な内容は、「不登校・若年層ひきこもり支援」「内部・外部連携」「アウトリーチと家族支援」でした。まずひきこもる若者のメンタリティと段階的な支援の説明がありました。そして、援助が必要であるにも関わらず、自発的に申し出ない人に対して、公共機関などが積極的に働きかけて支援の実現を目指すアウトリーチ型支援について、細かく教えていただきました。その後、6～7人のグループに分かれて、中学3年男子不登校の事例を話し合いました。様々な立場の方と意見交換することにより、共通認識を深めることができました。

研修会を企画してくださった埼玉県青少年課の皆様、講師や関係者の皆様、ありがとうございました。

（H・Y）



## 第2回さいたま市発達障害者支援連絡協議会

11/20（月） 会場：さいたま市障害者総合支援センター

さいたま市発達障害者支援センターは、発達障害者への福祉の進展のため、発達障害者の支援に携わる様々な機関からの委員による本協議会を設けており、「麦」も親の会として参画しています。

今回は、まず発達障害者支援センターの昨年度の事業について、相談の延人数はコロナ禍での減少以前の数に戻っていること、発達障害に関する普及啓発活動が行われたこと等の報告がありました。次に、発達障害者とかかわる各機関の相互理解と連携にむけて、グループワークと全体での発表を行いました。所属する機関の説明（自己紹介）をし、所属機関の現状と課題を出し合いました。皆さんのお話を伺い、他の多くの方と同様に私も、支援者の人数の不足と支援者の障害理解を高める必要性を強く感じました。（M・K）

## さいたま市療育のあり方検討委員会



第1回 11/9（木）、第2回 1/26（金） 会場：さいたま市総合療育センター「ひまわり学園」  
 発達障害の支援ニーズが高まる一方で療育機関は限られ、初診待機は全国的に深刻な状況となっています。さいたま市では、2/1（木）に市内3か所目となる公的な療育機関「療育センターひなぎく」を開設しました。しかし、発達障害の受診希望者は増加を続け、民間の活用を含め、療育の質の向上と量の拡大を図る必要があります。そこで、さいたま市は令和5年度の事業として、療育のあり方検討委員会を設置し、「療育行政における現状と課題」を審議することになりました。検討委員会には、「麦」代表が家族会の立場で参画しております。

検討委員会では、療育を必要とする子どもやその家族に対して切れ目のない支援を実現するために、さいたま市の療育体制の土台となる報告書を作成いたしました。報告書作成の為に、「療育の現状」「中長期的に取り組むべき課題」「今後の療育のあり方」などが討議され、私は、「療育と発達支援」「初診受け入れ年齢」「家族支援」「グラフや連携図」等に意見いたしました。委員みなさんから、約80の意見が出され、担当課がひとつひとつ丁寧に回答、可能な限り委員達の意見が報告書に反映されました。本報告書は、さいたま市議会において委員会報告の予定です。

検討委員会の委員皆様、オブザーバーのひまわり学園医師・作業療法士の先生方、事務局の皆様、大変お世話になりました。さいたま市の療育が、検討委員会の報告書により、いっそう推進されることをお祈りしております。

（H・Y）

参考      さいたま市「療育センターひなぎく」  
 さいたま市岩槻区府内 1-8-1 岩槻区役所府内別館内（旧岩槻区保健センター跡地）  
<https://www.city.saitama.lg.jp/002/003/009/001/006/p098454.html>

## こども家庭庁主催



### 子ども・若者支援地域協議会及び子ども若者総合相談センター地方キャラバン

基調講演 「ユースワークと居場所の現在地～若者支援のこれからを考えるために～」

講師：青山鉄兵氏（文教大学准教授）

取組紹介 「子ども支援と若者支援をつなぐ体制づくり～上尾市子ども家庭総合支援センターの取組～」

提供：新田武志氏（上尾市子ども未来部 子ども家庭総合支援センター・副主幹）

1/30（火）会場：さいたま共済会館

こども家庭庁では、子ども・若者をめぐる環境の変化を受け、こども大綱の策定などの取組が進められています。そこで「子ども・若者支援地域協議会」及び「子ども・若者総合相談センター」の設置の加速化を見込める地域において、こども家庭庁主催のキャラバン（啓発会合）が開催されることになりました。埼玉県のキャラバンでは、県内の子ども・若者支援関係者を対象として、有識者による基調講演と上尾市の事業紹介が行われました。「麦」は埼玉県若者支援協議会主催の「若者支援のためのネットワークづくり研修会」に参加した関係で、今回のキャラバンに代表が出席しました。

こども・若者の居場所づくりにおける理念とは、心身の状況や環境に関係なく、こども・若者の権利が擁護され、将来にわたって幸福に生活できることです。さまざまなニーズや特性を持つこども・若者が、各々に応じた居場所を持てるように、「麦」でも何らかの活動をしていきたいと思いました。

（H・Y）



## 令和5年度さいたま市ひきこもり対策連絡協議会

1/22（月）午後 会場：さいたま市子ども家庭総合センター「あいぱれっと」

さいたま市ひきこもり対策協議会は、平成24年に設置され、ひきこもりに関する意見や情報交換、ひきこもり対策事業の連絡調整などが行われています。発達障害のある人の中に、ひきこもりになるケースが多数見受けられることから、「麦」では本協議会に参画しています。

1/22（月）午後、「麦」代表が委員として出席いたしました。当日は、「各委員所属機関活動報告」「ひきこもり相談センター活動報告」「さいたま市の長期欠席・不登校児童の状況」「社会資源の整備」について話し合いました。私は、発達障害のケースでは、学校の環境（教師の指導、教育方針、ノートや宿題提出等）が合わず、障害ゆえにできない事を求められ、学校での学びの困難さが不登校の原因のひとつになっていることを説明しました。また、平等という名のもとに、公平さが損なわれ、合理的配慮を最良と勘違いされることも多いので、環境整備の充実を求めました。多様性が認められ、誰もが自分らしく生き生きと暮らせることを願っています。

（H・Y）



## 第2回さいたま市障害者政策委員会

1月17日（水） オンライン（Zoom）

さいたま市障害者政策委員会は、障害者に関する施策の総合的かつ計画的な推進についての必要な事項の調査審議等を行うために設置されています。第2回目も zoom での参加も可能だったので、第一回目と同じく、私は zoom で参加しました。

### 議題

- (1) 次期障害者総合支援計画案について
- (2) さいたま市誰もが共に暮らすための障害者の権利の擁護等に関する条例の改正について
- (3) さいたま市職員における障害を支流とする差別の解消の推進に関する対応要領の改正について
- (4) 第2回誰もが共に暮らすための市民会議の報告について
- (5) その他

どの議題にもいろいろな団体から意見が出ました。特に災害時の障害者への対策、グループホームの運営会社の不正問題に対しての意見が多く出ました。

また(2)の条例の改正については、いろいろな場面において、「その特性に応じた配慮を行うようにつとめなければならない」から「その特性に応じた配慮を行うものとする」に改正されるそうです。とても喜ばしいことですね。

第一回目の報告でも書きましたが、この会議にはいろいろな障害団体の方が参加します。他の団体の方の意見を聞くよい機会にもなりました。

障害者総合支援計画に基づき、誰もが暮らしやすいさいたま市になるように願います。関係機関の皆様、当日はありがとうございました。

（C・N）



## ディスレクシア月間企画「読書バリアフリー要望書」

国連でディスレクシア（学習障害のひとつ、知的に遅れがない読み書きの困難）の日を制定する働きかけがあり、日本でもディスレクシアに関連する主要 5 団体が 10/1～10/31 までをディスレクシア啓発月間として様々な活動を行いました。「麦」が所属する全国 LD 親の会では、読書バリアフリー法（障害の有無に関わらず、すべての人が読書による文字・活字文化の恩恵を受けられるようにするための法律）による情報保障を求めて、各地図書館へ要望書を提出することにしました。各地親の会は、全国 LD 親の会から地域の公立図書館と学校図書館を所轄している教育委員会に、要望書を提出するよう依頼されました。「麦」では全ての図書館に幅広く対応いただくため、10/26 に埼玉県図書館協会あてへ要望書を郵送いたしました。要望内容も、埼玉県の現状に合わせました。埼玉県図書館協会あてに、このような要望書が届くことは初めてだったようですが、快く対応いただいた埼玉県図書館協会の皆様に、深く感謝いたします。（H・Y）

### 全国 LD 親の会 2023 年度第 3 回行政勉強会「障害者総合支援法の相談支援について」

11/25（土）10：00～12：00 Zoom 利用

講師：日詰 正文氏（元厚生労働省、JDDnet 事務局長、言語聴覚士）

全国 LD 親の会では、教育と福祉に関連する行政の勉強会を開催しており、所属会の会員であれば視聴できます。

今回は、発達障害のある人が利用できる「相談支援」の種類と内容などお話しいただきました。障害者福祉サービスを利用する上で必要な相談（計画相談など）、障害福祉サービスを利用しなくてもよい障害者向け相談（地域生活支援事業）、また一般向けの相談を利用することもできることが分かりました。どこにどんな支援や相談窓口があるのか？と迷ったときは、市町村の窓口や地域の基幹相談支援センターに相談するとよいとのこと。（基幹相談支援センターはまだ設置されていない地域もあります。）さらに先生は、高齢になってから判明した発達障害のある人への対応が増えている事例を挙げて、ひとりの生活になった時でも必要な時に必要な福祉につながるようにしておくことが大切で、かかりつけ医や相談機関等とのつながりが途切れることがないようにするとよい、と話されました。今後への課題と、行政や専門家が考える新しいサービスなどのお話もあり、大変勉強になりました。（M・K）

なお、後日全国 LD 親の会を通じ講師の先生から以下の情報をいただきましたので、併せてお知らせします。  
——障害者総合支援法の範囲でなくても一般向けの相談先として、

- ・かかりつけ医療機関（精神科、内科等）
- ・社会福祉協議会（生活福祉資金の貸付）
- ・消費生活センター（消費生活相談窓口） などがあります。

インターネットの普及もあり、発達障害のある人の消費者トラブルが増えているそうです。

消費者庁の「障がい者の消費行動と消費者トラブルに関する調査」について

[https://www.caa.go.jp/future/project/project\\_009/](https://www.caa.go.jp/future/project/project_009/)

発達障がい者の消費者トラブル事例集

[https://www.caa.go.jp/future/project/project\\_009/pdf/project\\_009\\_190517\\_0005.pdf](https://www.caa.go.jp/future/project/project_009/pdf/project_009_190517_0005.pdf)

## 発達障害の理解啓発を進める県民向け講演会



### 「発達障害のある子どもの育ちと育みの理解と支え」

主催：埼玉県、(公財) 明治安田こころの健康財団

11/4 (土) 会場：埼玉県発達障害総合支援センター

講師：岡田 俊 氏 (奈良県立医科大学精神医学講座教授)

近年はよく耳にするようになった「発達障害」という言葉。でもこの言葉からイメージするものは決して一様ではありません。うちの子どもは発達障害なんです、と学校の先生に話した時、先生と自分は同じイメージで話しているかな？あまりにも「発達障害」が多様でありすぎるために理解しあうことが難しくなっている、というお話に大きくうなずいてしまいました。また、子育ての過程で保護者が感じる様々な葛藤などを的確に表現してくださり、ほっとするものがありました。多様性を尊重し、自分の持つ多様性にも寛容であることが大切とおっしゃっています。でも、私はそうでない現実が多いように感じます。皆が理解しあう、発達障害の人にも優しい社会になってほしいと思いました。

主催者の皆様には、このような講演会を開催していただき、誠にありがとうございました。

また、「麦」のリーフレットと行事のチラシを資料コーナーに置かせていただき、たくさんお持ち帰りいただきました。「麦」をさらに多くの方に知っていただければと思います。ありがとうございました。(M・K)



## 情報提供

### さいたま市主催の発達障害に関する講演会のご案内

#### 「発達障害児に対する理解と支援」～特別なニーズを持った子どもたちと共に～

日時：3月9日(土) 14:30～16:10

会場：与野本町コミュニティセンター 多目的ルーム大

定員：270名 参加費：無料

講師：前川 あさ美氏 (東京女子大学現代教養学部心理・コミュニケーション学科教授)

詳細はさいたま市ホームページでご確認ください。

<https://www.city.saitama.lg.jp/002/003/004/003/001/p086330.html>



## 法人会員のご紹介

「麦」法人会員の日進自動車教習所では、発達障害等により、運転免許の学科や実技試験に不安を抱かれています。サポートするプランを提供しています。

そこで、本機関紙で法人会員とそのサポートプランについて簡単に紹介させていただきます。(H・Y)

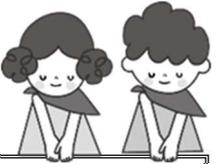
太陽グループ自動車教習所 日進自動車教習所の「つばさプラン」とは？

日進自動車教習所は、さいたま市の指扇駅から無料送迎バス5分の好立地にあります。通常の教習以外に、運転や勉強、コミュニケーションに不安がある方を対象とした「つばさプラン」を提供しています。メールや電話で問い合わせ後、適正相談・面談・検査・入所となります。教習は2～3人の指導員が優しく指導し、コーディネーターが協力してくれます。免許取得後も、教習所で運転チェックや相談など、フォローアップがあります。詳細はホームページでご確認ください。

<https://www.taiyo-group.co.jp/nisshin/>



## 「麦」活動報告（機関紙 2023 年 10 月 158 号報告以降）



### <会全体の活動> 会員参加行事

- 全体例会（学習や会員同士の交流の場の提供）
  - 10/21（土） 全体おしゃべり会 入会希望者お試し参加可 Zoom
  - 11/20（月） 午前：おしゃべり会 入会希望者お試し参加可 会場開催  
午後：会員限定施設見学会 就労移行支援事業所「ブライトさいたま」
  - 12/17（日） 講演会「発達障害のある子の子育てと周囲との連携」（会場+Zoom）
  - 1/22（月） 午前：おしゃべり会 入会希望者お試し参加可 会場開催  
午後：会員限定施設見学会 就労移行支援事業所「アクセスジョブさいたま」

### <役員活動>

- 役員会（活動報告、計画、相談、情報交換等） 全て Zoom
  - 10/18（水） 11/10（金） 12/11（月） 1/15（月）
  - 全体例会、会則改正、年会費の支払い方法など
- 機関紙発行および各種発送に関する活動
  - 10/26（木） 機関紙 158 号発行、WEB 掲載 機関紙及び進路等アンケート結果の発送
- ホームページの更新
  - 10/25（水） 10/26（木） 12/16（土） 1/5（金） 1/30（火）
- 行政から「麦」へ委嘱された委員会や協議会
  - 10/19（木） 令和 5 年度第 1 回埼玉県発達障害者支援地域協議会（Zoom）
  - 11/9（木） 令和 5 年度第 1 回さいたま市療育のあり方検討委員会（会場開催）
  - 11/20（月） 令和 5 年度第 2 回さいたま市発達障害者支援連絡協議会（会場開催）
  - 1/17（水） 令和 5 年度第 2 回さいたま市障害者政策委員会（Zoom）
  - 1/22（月） 令和 5 年度さいたま市ひきこもり対策連絡協議会（会場開催）
  - 1/26（金） 令和 5 年度第 2 回さいたま市療育のあり方検討委員会（会場開催）
- その他の行政関連 全て会場開催
  - 11/4（土） 埼玉県主催講演会「発達障害のある子どもの育ちと育みの理解と支え」
  - 11/13（月） 埼玉県若者支援のためのネットワークづくり研修会「不登校やひきこもる若者の自立支援」
  - 1/30（火） こども家庭庁主催「令和 5 年度子ども・若者支援地域協議会及び子ども・若者総合相談センター 地方キャラバン（啓発会合）」

### <全国 LD 親の会の行事>

- 10/26（木） ディスレクシア月間企画「読書バリアフリー要望書」埼玉県図書館協会へ提出
- 11/25（土） 勉強会「障害者総合支援法の相談支援について」（Zoom）
- 1/18（木） 勉強会「中学校での支援の取り組みや高校進学に向けての内申等について」（Zoom）



# 埼玉親の会「麦」主催 **会場+オンライン** 発達障害の子を持つ保護者おしゃべり会

会場とオンライン（Zoom）で保護者おしゃべり会を行います。  
同じような立場の仲間同士、胸に抱えている悩みを話してみませんか？  
保護者以外のご家族の方も参加できます。

麦会員限定（賛助・法人会員含む）の小グループによるおしゃべり会ですが、**入会検討中の会員以外の方もお試し参加として受け付けています。**  
参加ご希望の方は 下記の申し込み先にご連絡ください。皆様の参加をお待ちしております。



**日時** 4月25日（木）10:30～12:00（受付 10:15～）

**会場** 浦和コミュニティセンター IT研修室

さいたま市浦和区東高砂町 11-1 コムナーレ 10F TEL 048-887-6565  
JR 浦和駅東口徒歩 1 分 ロータリー前 有料駐車場あり

**参加費** 麦会員（正会員・賛助・法人）無料  
入会検討の方 お試し参加初回無料

**定員** 会場 10 名 オンライン 5 名

先着順 定員になり次第締切

**申込先** 埼玉親の会「麦」WEBフォーム

<https://forms.gle/Tr9Mfnfgjys1wUga7>



**4/18（木）**までに、二次元バーコードまたはURLからお申し込みください。

WEBフォームから申し込みできない方は、

メール [mugi.saitama89@gmail.com](mailto:mugi.saitama89@gmail.com) 電話 080-4125-6020

こちらにお問い合わせをお願いします。

3日以内に受付完了メールが届かない時は、迷惑メールをチェックいただき、それでも届いていない時は080-4125-6020へ電話をお願いします。

参加者の個人情報、行事の運営と緊急連絡などの目的以外に使用いたしません。

☆保育は行っておりません。お子様連れの場合、保護者にお任せしますのでご了承ください。

埼玉親の会「麦」とは・・・

LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥多動性障害）、ASD（自閉スペクトラム症）の知的に遅れない発達障害の子どもを持つ保護者で構成されています。保護者自身が子どものことを理解し、また、子どもたちが周囲に理解されて、自立した豊かな社会生活が送れるよう活動しています。1989年発足。

埼玉親の会「麦」

<http://ld-mugi.sakura.ne.jp/>



# 埼玉親の会「麦」主催 発達障害の子を持つ保護者おしゃべり会

5月病などお子さんの心や体の変調に不安を感じていませんか？同じような立場の仲間同士で、悩みを話してみましょ。保護者以外のご家族の方も参加できます。



麦会員限定（賛助・法人会員含む）の小グループによるおしゃべり会ですが、**入会検討中の会員以外の方もお試し参加として受け付けています。**  
参加ご希望の方は 下記の申し込み先にご連絡ください。皆様の参加をお待ちしております。

日時 5月23日（木）10:30～12:00（受付 10:15～）

会場 さいたま市生涯学習総合センター 7F 講座室 3

さいたま市大宮区桜木町 1-10-18 シーノ大宮センタープラザ  
JR 大宮駅西口徒歩 5 分 有料駐車場あり TEL048-643-5651

参加費 麦会員（正会員・賛助・法人）無料  
入会検討の方 お試し参加初回無料

定員 15名 先着順 定員になり次第締切

**5/16（木）**までに、二次元バーコードまたは URL からお申し込みください。

WEB フォームから申し込みできない方は、

メール mugisaitama89@gmail.com

電話 080-4125-6020

こちらにお問い合わせをお願いします。

3 日以内に受付完了メールが届かない時は、迷惑メールをチェックいただき、それでも届いていない時は 080-4125-6020 へ電話をお願いします。

参加者の個人情報、行事の運営と緊急連絡などの目的以外に使用いたしません。

☆保育は行っておりません。お子様連れの場合、保護者にお任せしますのでご了承ください。

埼玉親の会「麦」とは・・・

LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥多動性障害）、ASD（自閉スペクトラム症）の知的に遅れない発達障害の子どもを持つ保護者で構成されています。保護者自身が子どものことを理解し、また、子どもたちが周囲に理解されて、自立した豊かな社会生活が送れるよう活動しています。1989 年発足。

埼玉親の会「麦」



<http://ld-mugi.sakura.ne.jp/>

申込先 埼玉親の会「麦」 WEB フォーム

<https://forms.gle/cLxCFqXFYqqr5Zxc8>



## 2023 年度総会（正会員限定）



日時 3月10日（日）10：30～（10：15 受付開始）  
場所 浦和コミュニティセンター IT研修室+オンライン

※出席者は郵送された総会資料をご用意ください。

## 交流会「おしゃべり会」（会員限定）

総会后、13：00～ 午前と同じ会場+オンラインでおしゃべり会を開催  
午前から引き続き出席の方は各自で昼食をご用意ください。

※3月10日の出欠を3月6日必着でお返事をお願いします。

## ❁ 埼玉親の会「麦」主催 全体交流会 おしゃべり会

日時：4月25日（木）10：30～12：00（受付10：15～）  
会場：浦和コミュニティセンター IT研修室+オンライン  
定員：会場 10名 オンライン 5名 先着順 定員になり次第締切  
参加費：麦会員（正会員・賛助会員・法人会員）無料  
入会検討の方 お試し参加初回無料  
※詳細は10ページのチラシをご覧ください。



日時：5月23日（木）10：30～12：00（受付10：15～）  
会場：さいたま市生涯学習総合センター 7F 講座室3  
定員：15名 先着順 定員になり次第締切  
参加費：麦会員（正会員・賛助会員・法人会員）無料  
入会検討の方 お試し参加初回無料  
※詳細は11ページのチラシをご覧ください。

春になって新しい人間関係が生じると、ストレスを感じませんか？一人で抱え込まないで、「麦」の仲間達とおしゃべりしませんか？新年度は、様々な方法や地域での企画を考えています。会員の皆様、ご都合が合えば是非ご参加ください。

## ❁ 4月発送お手伝いのお願い

日時：4月25日（木）13：00～  
会場：さいたま市市民活動サポートセンターミーティングスペース  
※全体交流会終了後、同会場で発送作業がございます。  
ご都合のつく会員は、発送のお手伝いをよろしくお願いいたします。



## ～編集後記～ 2023 年度機関紙担当からのご挨拶

\* 機関紙に原稿をお寄せいただいた皆さまへ

この度は、機関紙2月号に原稿を寄せていただき、ありがとうございました。これからも、麦の活動にご協力をお願いいたします。 <機関紙担当一同>

\* 昨年なんとか高校生になることができた息子ですが、このたび無事に進級できそうでほっとしています。子どもの成長はうれしいですが、その分、自分が年を取るのは悲しいです笑 (M・N)

\* 今年度は私的な面では悲しい出来事がありましたが、無事に終わって良かったとほっとしています。子どもは大人になっても親にとってはいつまでも子どもなんだな？と実感した年でした。(A・Y)